

「共生社会」を考える～本人中心の視点から

- ◆日時：2017年11月12日(日) 13:30～16:00 (13:00受付開始)
- ◆会場：南部労政会館 (ゲートシティ大崎 ウェストタワー2階 地図参照)
東京都品川区大崎 1-11-1 電話：03-3495-4915)
- ◆講演：『共生社会を考える』

講師 DP I 日本会議 副議長 尾上浩二

- ◆参加費：無料 (サポート研会員でない場合資料代 2,000 円が必要です。)
会場の定員は50名です。定員になり次第締め切りますので必ず事前の申し込みをお願いいたします。

開催趣旨

今後向かうべき社会のあり方を示すキーワードとして「共生社会」が上げられます。「障害者権利条約」の批准がわが国にもたらしている、インクルーシブな社会をすすめる大きな流れの現れであるとともに、少子高齢社会の進展のために社会保障制度がこれまでの形では成り立たず、住民参加による地域の創造をすすめるなければならない財政事情のためともいえます。文部科学省は「インクルーシブ教育」、厚生労働省は「我が事」・「丸ごと」の地域づくり、と国とはいえ省庁により力点や共生社会の理解が違うようです。また、昨年起きた津久井やまゆり園での障害者殺傷事件は、「優性思想」の亡霊が消えていないことを浮かびあがらせました。今後の社会の動向によっては、なにが起こるかわからない恐れをこの事件は伝えています。この「共生社会」を巡る複雑な状況で、守らなければならないことは何か、本人の立場から尾上さんに語っていただき、参加者全員で考える機会とします。

- 13:30～13:35 開会挨拶 赤塚光子 (当代会長)
- 13:35～15:00 講演 「共生社会」を考える 講師 DP I 日本会議 副議長 尾上浩二
- 15:15～16:00 参加者を含めた質疑、意見交換

申し込みはメールあるいはファクシミリをお願いします。

◇申し込みアドレス support-ken@forest.ocn.ne.jp

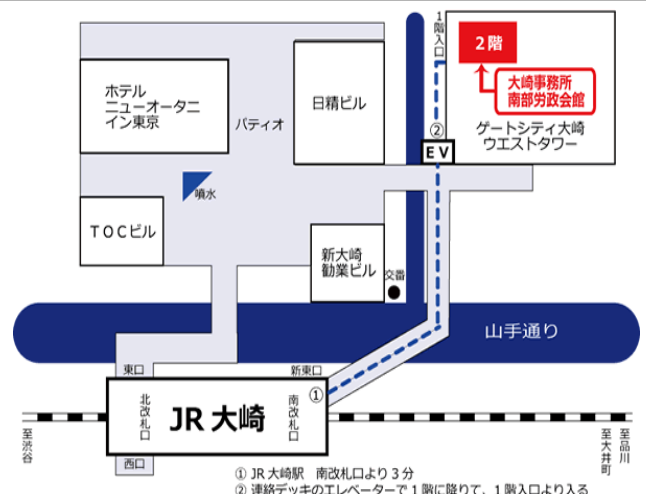
(お名前、会員あるいは非会員、所属、連絡先を記載してください)

◇申し込みファクシミリ 044-271-8788 (サポート研事務局)

(この用紙のままファクシミリしてください)

※会場は大崎駅、南口(新東口)から徒歩5分です。改札を出てデッキを左方向、エレベーターで地上に下がってすぐ右手側の奥に小さな入口があります。(南部労政会館の表示ありますが小さいのでご注意ください。)

※サポート研 ホームページ <http://support-ken.net/>
メール support-ken@forest.ocn.ne.jp



お名前(所属等)		
会員または非会員	① 会員である	② 会員でない
連絡先	電話	メール